

性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス)に関する実態調査

令和6年(2024年)3月



東京都生活文化スポーツ局

I 調査概要

● **調査名** : 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する実態調査

● **調査目的**

進路や職業の選択への「性別による思い込み」の影響を明らかにし、効果的な普及啓発手法や子供の進路・職業の選択肢拡大に向けた施策検討につなげていく。

● **調査概要**

様々な場面で女性の活躍が進んでいるものの、社会全体の意識が変わるまでには至っていない。この背景として、過去の経験や見聞きしてきたことにより形成されている、「性別による無意識の思い込み」（アンコンシャス・バイアス）が影響している可能性がある。

令和4年度に実施した児童（小学5・6年生）、保護者、教員を対象とした調査では、大人だけではなく、児童でも「教科の得意・不得意」、「仕事の向き・不向き」に性別が関係していると考えられる傾向があることが判明した。

本調査では、このような意識の形成の要因や、進路や職業の選択への影響を明らかにするため、高校生及び教員を対象として、「性別による無意識の思い込み」に関する実態調査を実施した。

調査に当たっては、令和4年度調査との比較が可能となるよう調査票の設計を行うとともに、仮説を設定し、これに基づき結果の分析を行った。

● **調査対象** : 都立高等学校 全日制・定時制生徒（1・2年生）、教員

● **標本数（有効回答数）** : 生徒43,210人（10,763人）、教員 9,467人（2,549人）

● **標本抽出** : 生徒については、都立高校生全日制・定時制1・2年生83,906人のうち、学校名簿から学科別に割当法で抽出した学校に在籍している課程の生徒を対象とした。教員は都立高校に在籍している全教員を対象とした。

● **調査方法** : インターネットを利用しWeb画面から直接回答を得た。

● **調査期間** : 令和5年9月1日（金）から9月21日（木）まで

● **調査実施機関（委託先）** : 株式会社リサーチワークス

※報告書作成にあたっての集計・検定方法については、「Ⅲ 資料の見方（P60～62）」参照

II 調査結果

目次

1. 生徒……………P3

- (1) 回答者属性
- (2) 「男性/女性だから」と思う意識について
- (3) 進路・職業選択に対する意識について
- (4) 周囲からの影響による「男性/女性だから」と思う意識の形成について
- (5) 家事・育児に対する性別役割分担意識について
- (6) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について
- (7) 分析結果まとめ

2. 教員……………P29

- (1) 回答者属性
- (2) 「男性/女性だから」と思う意識について
- (3) 自身のキャリアについて
- (4) 校務など教員の職務に関することについて
- (5) 生徒の進路・職業選択に関することについて
- (6) 保護者に関することについて
- (7) 周囲からの影響による「男性/女性だから」と思う意識の形成について
- (8) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について
- (9) 分析結果まとめ